

地域母子保健管理における妊婦健診情報の活用に関する研究

－新潟県における母子保健事業の現況－

分担研究者 小野寺 伸 夫（新潟県衛生部長）
研究協力者 吉 田 哲 彦（新潟県衛生部公衆衛生課長）
渡 辺 宏（新潟県新津保健所長）

はじめに

1. 新潟県における母子保健の現況

新潟県における母子保健事業は市町村に委託実施されており、保健所は市町村の指導を主とし、必要に応じて技術援助を行っている。従って、県は市町村に対し委託費を支払っており、また、母子保健法第13条による妊婦健康診査受診票は市町村に委託して、妊娠届出の際、市町村の窓口で交付されるようになっている。受診票は健康診査受診後、医療機関から発行した保健所に請求され、保健所で支払いをするよう定められている。

ちなみに、昭和55年度の新津保健所管内（3市、3町、1村、人口203,323人）で、委託費は、9,776,659円にのぼり、妊婦健康診査に対する医療機関への支払いは、13,273,210円となっている。

以上のような実情のため、保健所では母子保健事業の情報が得られにくいというらみがある反面よりきめの細かい施策が市町村で実施されると言う利点も認められる。

これらの実情を踏まえて、本年度は次の2つの項目につき研究を行った。

2. 研究項目

(1) 妊婦健康診査の実態調査

母子保健法第13条による妊婦健康診査（以後無料健診と略称する）と妊婦の自由意志による自主的健診（有料健診と略称する）との総合である全妊婦健診を把握して、妊婦健康診査の実態を知り、考察を加えようとするものである。

(2) 母子管理票の実態調査

新潟県では、昭和37年「新生児及び妊娠中毒症等の訪問指導実施要領」を定める際、母子登録管理票の様式、活用方法等を示したが昭和40年の母子保健事業の市町村委託に伴ない、市町村の実情に応じて改変されているので、その実態の調査と検討を行うとするものである。

以下、主題ごとに調査方法、成績等を略述することとする。

1 妊婦健康診査の実態調査

1. 研究の背景

妊娠が確認されると、妊娠届出が市町村に提出され、同時に母子健康手帳と医療機関委託健康診査受診票2枚が交付される。

市町村は、妊娠届出に基づき各種学級への参加勧奨、助産婦・保健婦による訪問等により保健指導を行うので、妊婦には便利であり、またよりきめの細かい指導が行われるが、保健所は市町村からの各種の報告、無料受診票からの情報及び保健婦相互間の業務連絡による情報だけがその主たるものである。

しかし、妊婦健康診査は無料健診よりも有料健診の方がより多く実施されているのが実態で無料健診はともかく、有料健診の情報はほとんど得られないのが実情である。

これらを受けて本年度の研究は、昨年度の研究の継続として、次のように計画した。

2. 研究計画

(1) 管内の妊婦健康診査の実態把握

ア 無料受診票についての調査

昭和55年4月1日から56年3月31日まで
に受診し、健康診査費の請求のあった者について、交付台帳と照合しその活用状況、
交付から受診までの期間及び異常の有無を
調査する。

イ 管内医療機関における妊婦健康診査の実
態調査

このことについては、昨年度で中間報告
として、2か月分の集計を報告したところ
であるが、本年度は調査の全期間（昭和56
年1月から同年3月）の3か月分について
管内の全医療機関（病院4、診療所11）が
行った全妊婦健康診査（有料・無料とも）
を調査することとし、その調査項目は次の
通りである。

(ア) 今までの健診状況について

a 年齢階層別の受診者及び健診回数
の調査

b 全妊婦受診者のうち、無料健診の受
診状況についての調査

(イ) 受診状況について

妊婦健診受診者の年齢階層別及び妊
娠週数別の調査

(ウ) 受診結果について

受診の結果異常の有無別について、
年齢階層別・受診回数別・既往妊娠
回数別・妊娠週数別・に病状や病類
別に分けて調査する。

(エ) 既往妊娠回数と健診回数について

既往の妊娠回数と今回の妊娠による
健診回数について調査する。

(オ) 無料健診と有料健診との関連について

3. 研究 成 績

(1) 新津保健所管内における母子保健の基本的
事項について（表1.2）

昭和55年度の妊娠届出数は、2,789件で逐
年減少の傾向を示している。(約3.5%ずつ減)
妊娠満19週までの届出率は95.8%であるが
出産後の届出数が15件もあり遺憾であった。

なお、妊産婦死亡は昭和55年は0である。

昭和55年の出生数は2,845人で、うち出生
時体重2,500g以下のもの160人で5.6%、
4,000g以上の過熟児は80人・2.8%で他は
2,605人 91.6%で男女間に大きな差はなか
った。

乳児死亡は28人で男に多く、新生児死亡は
21人で総死亡に対する割合は75.0である。

(2) 無料受診票による調査

ア 無料受診票の利用状況（表3）

無料受診票を交付された妊婦は2,727人
で2枚とも利用したものは2,278人83.5%
1枚だけ利用したものは2,972人10.9%、
全く利用しなかったもの152人5.6%であ
る。これを年齢階層別に見ると最も多いの
が25～29歳の年齢層で49.1%を占めている
が、当然のことながら、年齢階層別の交付
割合は出生時の母の年齢階層別構成比とほ
ぼ一致する。2枚とも利用したものは各年
齢層ともほぼ同様である。

イ 交付から利用までの期間（表4,5）

1回目の受診では、1か月後が最も高率
で44.6%、次いで交付月23.7%、2か月後
18.0%である。交付後2か月までに86.3%
が1回目の健診を受けているが、遅いもの
は6か月後であり、これは妊娠中に1回し
か受診しなかったものと思われる。

2回目の受診は、交付後4か月27.8%、
5か月24.1%が最も多く、この時期に52.0
%のものが受診している。

1回目、2回目受診は交付月によつての
変動は殆ど見られない。

(3) 管内医療機関における妊婦健康診査の実態
研究計画に従つて、昭和56年1月から同年
3月までの3か月間の全妊婦の医療機関受診
状況を調査した。

ア 今回の妊娠についての健診状況（表6）

調査期間中の妊婦健康診査受診者総数は
延6,212人で、年齢階層別には25～29歳が
3,339人53.8%で最も多く、次で20～24歳

1,605人25.3%である。

今までの健診回数については、高年齢でわずかのずれが見られるが、一般に1～5回程度受診のものが多く55.9%を占めている。

期間中の無料受診票による受診者は988人15.9%である。(表14)

イ 妊娠週数と年齢階層からみた妊婦健康診査の受診状況(表7)

妊娠週数が受診の基準であることから考えると、当然の結果ではあるが、妊娠週数が進むと受診が多くなる傾向を示すが、年齢階層別では顕著な差は認められない。

受診者の63.9%は妊娠28週以降である。

ウ 既往妊娠回数と今までの健診回数

(表8, 9)

今までの妊娠回数は初回の者が最も多く2回目の妊娠のものと合わせると78.4%であり、年齢階層では、25～29歳では2回の妊娠が初回妊娠を上回っているが、3回目妊娠以降は少ない。

健診回数は初回妊娠に最も多く、回数も9～14回のものが多い。また、妊娠回数の多いもの程、健診回数が減少する傾向がある。

エ 健診結果(表10, 11, 12, 13)

受診者延人員6,212人のうち、異常ありは956人15.4%で、その内訳は、妊娠中毒症が523人と最も多く、異常ありのうち54.7%を占め、次に貧血症15.0%、骨盤位12.3%の順である。

年齢階層別では大差はないが、35～39歳で貧血症の割合が高く、妊娠回数が多くなる程貧血症は増加傾向を示す。

健診回数の増加により、異常ありの割合が増加してくる。これは異常ありの妊婦の受診回数が増加する結果ではないだろうか。

このことは、妊娠週数別の健診結果ともよく対応している。

オ 無料受診票について(表14, 15, 16, 17)

無料受診票による妊婦健康診査は988件で全妊婦健康診査の15.9%で、16～35週で789件79.9%が受診しており、妊婦健診の回数から言えば、初めての健診から5回目の健診までに71.2%が受診している。

有料健診の場合は、初回健診は少なく、2回目の健診以降増加してきている。このことは無料受診票で受診しているものが多いことを裏付けており、無料受診票を意義あらしめる要素の一つであろう。

無料受診票によるものと、有料健診について異常ありを比較すると、無料のもの89件9.0%、有料のもの867件16.6%で、両者の間に有意の差が認められる。 $(P < 0.1)$

この差は、無料受診票が比較的早期に利用される傾向があることと、異常ありといわれた人は有料健診も受診する傾向が強いことによるものではなかろうか。

4. ま と め

昭和55年度の無料受診票について、交付台帳を参照しながら調査し、併せて無料受診票の調査と同年の1月から3月までの3か月間、管内の妊婦健康診査を実施している医療機関について、妊婦健康診査の全数調査を実施した。

無料受診票による受診は全妊婦の15.9%で、そのうち2枚とも利用したものは83.5%と大部分を占め、1枚利用は10.9%で、全く利用しなかったのは、5.6%にしか過ぎない。

利用年齢は、25～29歳が最高で53.5%と過半数を超えている。

利用は、交付の翌月と5か月目が多く、交付月による変動はない。

管内医療機関における妊婦健康診査の状況は年齢階層別では25～29歳で最も多く53.8%で、今までの健診回数では1～5回が最も多く見られた。55.9%

健診結果では異常ありが15.4%で、うち妊娠中毒症が54.7%も発見され過半数を占めている。このほかは、貧血症、骨盤位の順である。貧血

症は高年齢層ほど、また妊娠回数が多いほど高率である。

健診の受診回数は、今回始めて妊娠したものに最も多く、回数も9～14回が多数を占めているが、妊娠回数が増加すると健診回数は減少する傾向が認められる。

無料受診票は、全健診の15.9%に利用されているが、とくに初回健診に利用されるのが最も多く、次いで交付後5か月目の概ね2回目の健診に利用されることが多い。

無料受診票による異常ありが9.0%で、有料健診によるものの異常ありの16.6%と大きく開いているのは、受診票が比較的早期に使用されることと、異常ありのものは、有料に受診することの累積によるものではなからうか。

Ⅱ 母子管理票の実態調査と母子管理票の様式・活用の方法について

1. 研究目的

県下全市町村において使用されている母子管理票について形態・内容項目等について比較検討を行い、母子管理票に具備すべき内容項目及び活用方法について検討を行う。

2. 研究方法

現在使用されている市町村の母子管理票を収集し、管理票の形態、内容項目及び活用の方法について比較検討を行い、基準となる母子管理票を作成するために、保健所、市町村等母子保健担当者からなる母子管理票検討委員会を組織し、この委員会で県下市町村及び全国都道府県・政令市・特別区で使用されている母子管理票を比較検討の上、母子管理票の活用を容易にするために必要な情報・記録・整理等について調査検討を行った。

検討内容として次の項目について行った。

(1) 母子管理票

- ア 母子管理票の性格及び具備すべき項目
- イ 各時期に個々の特徴が把握でき、かつ、管理ができるもの
- ウ 容易に問題点の把握ができるもの

エ 関係機関との連携で情報管理が容易に行えるもの

オ 母子管理体系に沿った管理票であること
これらの観点から、妊産婦、乳児、幼児（1歳6か月児・3歳児を含む）の欄について検討を行った。

また、どの時期に必要な情報とは何か、情報を得る方法、実施するにあたっての問題点について分析し、問題点と解決方法を明確にし、行政側で解決できるものとして、次の項目について検討した。

(2) 母子関係帳票

- ア 妊娠届出書から情報を得るための項目・様式の統一化
- イ 新生児及び妊娠中毒症等訪問指導票の内容項目
- ウ 医療機関委託健康診査受診票内容項目の追加

母子の一貫した健康記録の集録を行い、従来からの各種台帳を一本化し、事務量の軽減を図るために、関係帳票に関する検討も併せて行った。

3. 研究まとめ

母子保健対策を効率的に実施するため、健康診査をはじめとしてあらゆる情報を効果的に活用し、一貫した継続管理指導を行い、母子保健管理の徹底を図ることを目的として母子管理票検討委員会を4回開催し、管理票の性格、具備すべき項目の中で情報管理の可能なもの及び活用上の問題点とその解決方法については、関連事業等を考慮し、整理を行い母子管理票及び指導要領を作成し、昭和57年度から試行の予定である。

この母子管理票を基礎として、関係諸帳票、指導要領等をシステム化し、健康診査を始めた妊婦に関するあらゆる情報が効果的に活用され、地域内における妊婦の健康管理システムのシステム化を図ることとしている。

お わ り に

昭和55年度に管内の妊婦健康診査受診状況の実態を把握し、無料健診によるもの、自主健診によるものをそれぞれ分析した結果、異常ありと診断されたものは年齢別では大差ないが、妊娠回数が多くなるほど疾病は増加傾向を示しているため、ハイリスク妊婦を早期に把握し、管理の徹底を図るために県内統一した母子管理票を作成し、その活用を図る予定である。

表1 妊娠届出及び母子健康手帳交付状況

妊婦の届出をした者の数	母子健康手帳交付状況						
	満11週以内	満12週～19週	満20週～27週	満28週以内	不詳	出産後	再交付
(100.0) 2,789	(38.0) 1,061	(57.8) 1,610	(3.3) 91	(0.9) 26	(0.0) 1	15	20

比率は届出に対するもの

表2 人口動態に関する調べ

	出生	出生体重			乳児死亡					
		低体重児	正常児	過熟児	計	4週未満	4週～2ヶ月未満	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月～1年未満
計	(100.0) 2,845	(5.6) 160	(91.6) 2,605	(2.8) 80	(100.0) 28	(75.0) 21	(7.1) 2	(3.6) 1	(3.6) 1	(10.7) 3
男	(100.0) 1,381	(5.4) 75	(91.4) 1,262	(3.2) 44	(100.0) 21	(76.2) 16	(4.8) 1	(4.8) 1	(4.8) 1	(9.5) 2
女	(100.0) 1,464	(5.8) 85	(91.7) 1,343	(2.5) 36	(100.0) 7	(71.4) 5	(14.3) 1			(14.3) 1

乳児死亡率 9.8 (男 15.2, 女 4.8)

表 3 - 1 無料受診券利用状況調
昭和 55 年度

	交 付 者 数	2 枚 利 用 者 数	1 枚 利 用 者 数	利 用 せ ず の 者 の 数
計	(100.0) 2,727	(83.5) 2,278	(10.9) 297	(5.6) 152
～ 19	(100.0) 10	(70.0) 7	(30.0) 3	
20 ～ 24	(100.0) 658	(87.2) 574	(12.8) 84	
25 ～ 29	(100.0) 1,338	(89.5) 1,198	(10.5) 140	
30 ～ 34	(100.0) 488	(89.1) 435	(10.9) 53	
35 ～ 39	(100.0) 46	(89.1) 41	(10.9) 5	
40	(100.0) 1	(100.0) 1		
不 明	(100.0) 186	(11.8) 22	(6.5) 12	(81.7) 152

表 3 - 2 出生と無料受診券交付数

	出 生		無料受診券交付数	
	数	割合	数	割合
計	2,845	100.0	2,727	100.0
19才以下	33	1.2	10	0.4
20 ～ 24	602	21.2	658	24.1
25 ～ 29	1,523	53.5	1,338	49.1
30 ～ 34	621	21.8	488	17.9
35 ～ 39	61	2.1	46	1.7
40才以上	5	0.2	1	0.0
不 明			186	6.8

表4 交付から1回目受診までの期間調
昭和55年度

	交付者数	同 月	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後	4ヶ月後	5ヶ月後	6ヶ月後	7ヶ月後
計	(100.0) 2,575	(23.7) 609	(44.6) 1,149	(18.0) 463	(7.6) 195	(3.7) 95	(1.9) 49	(0.6) 15	
4月交付	(100.0) 195	(20.5) 40	(49.2) 96	(19.5) 38	(5.6) 11	(4.1) 8	(0.5) 1	(0.5) 1	
5月交付	(100.0) 225	(26.7) 60	(48.4) 109	(16.4) 37	(6.2) 14	(1.3) 3	(0.4) 1	(0.4) 1	
6月交付	(100.0) 202	(23.8) 48	(44.6) 90	(19.3) 39	(9.4) 19	(2.0) 4	(0.5) 1	(0.5) 1	
7月交付	(100.0) 216	(20.8) 45	(47.2) 102	(16.2) 35	(9.7) 21	(2.3) 5	(1.4) 3	(2.3) 5	
8月交付	(100.0) 184	(30.7) 38	(39.7) 73	(18.5) 34	(10.9) 20	(6.5) 12	(2.7) 5	(1.1) 2	
9月交付	(100.0) 224	(27.2) 61	(48.7) 109	(15.2) 34	(4.0) 9	(3.6) 8	(1.3) 3		
10月交付	(100.0) 210	(27.1) 57	(40.5) 85	(19.0) 40	(8.6) 18	(2.9) 6	(1.4) 3	(0.5) 1	
11月交付	(100.0) 192	(23.4) 45	(42.2) 81	(19.3) 37	(9.4) 18	(4.7) 9	(0.5) 1	(0.5) 1	
12月交付	(100.0) 218	(28.0) 61	(47.2) 103	(13.8) 30	(7.8) 17	(2.3) 5	(0.9) 2		
1月交付	(100.0) 244	(25.4) 62	(40.2) 98	(20.1) 49	(4.9) 12	(6.6) 16	(2.5) 6	(0.4) 1	
2月交付	(100.0) 210	(22.9) 48	(44.3) 93	(11.0) 23	(8.6) 18	(6.7) 14	(6.2) 13	(0.5) 1	
3月交付	(100.0) 255	(17.3) 44	(43.1) 110	(26.3) 67	(7.1) 18	(2.0) 5	(3.9) 10	(0.4) 1	

表5 交付から2回目受診までの期間調

昭和55年度

	交付者数	同 月	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後	4ヶ月後	5ヶ月後	6ヶ月後	7ヶ月後
計	(100.0) 2,278	(0.5) 12	(4.5) 103	(13.6) 309	(19.5) 444	(27.8) 634	(24.1) 550	(8.8) 201	(1.1) 25
4月交付	(100.0) 132		(3.0) 4	(7.6) 10	(15.9) 21	(24.2) 32	(31.8) 42	(15.9) 21	(1.5) 2
5月交付	(100.0) 203		(3.4) 7	(16.3) 33	(16.7) 34	(31.5) 64	(23.2) 47	(6.4) 13	(2.5) 5
6月交付	(100.0) 201	(1.0) 2	(6.0) 12	(10.0) 20	(24.4) 49	(28.4) 57	(16.9) 34	(12.9) 26	(0.5) 1
7月交付	(100.0) 192	(1.0) 2	(5.7) 11	(10.4) 20	(18.2) 35	(26.6) 51	(27.6) 53	(9.9) 19	(0.5) 1
8月交付	(100.0) 163	(0.6) 1	(6.1) 10	(14.7) 24	(18.4) 30	(27.6) 45	(22.1) 36	(9.8) 16	(0.6) 1
9月交付	(100.0) 216	(0.5) 1	(3.7) 8	(13.9) 30	(21.3) 46	(24.5) 53	(27.3) 59	(7.9) 17	(0.9) 2
10月交付	(100.0) 183	(0.5) 1	(2.2) 4	(15.3) 28	(15.3) 28	(27.3) 50	(27.3) 50	(10.4) 19	(1.6) 3
11月交付	(100.0) 170	(1.2) 2	(4.1) 7	(8.2) 14	(22.9) 39	(25.9) 44	(28.2) 48	(8.2) 14	(1.2) 2
12月交付	(100.0) 217		(5.1) 11	(15.2) 33	(19.8) 43	(31.8) 69	(24.4) 53	(3.2) 7	(0.5) 1
1月交付	(100.0) 188	(0.5) 1	(1.1) 2	(14.9) 28	(21.3) 40	(23.9) 45	(27.1) 51	(10.1) 19	(1.1) 2
2月交付	(100.0) 193	(1.0) 2	(4.7) 9	(18.1) 35	(18.7) 36	(33.2) 64	(19.2) 37	(3.6) 7	(1.6) 3
3月交付	(100.0) 220		(8.2) 18	(15.5) 34	(19.5) 43	(27.3) 60	(18.2) 40	(10.5) 23	(0.9) 2

表6 今までの健診回数 (年齢階層別)

(昭和56年1月～3月)

医療機関調

	計	0回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14～	不明
計	(100.0) 6,212	(7.3) 455	(12.3) 763	(12.0) 743	(11.3) 699	(10.7) 666	(9.8) 611	(8.9) 550	(7.3) 453	(6.4) 398	(5.2) 320	(3.5) 219	(2.5) 155	(1.4) 85	(0.8) 48	(0.5) 33	(0.2) 14
～19才	(100.0) 41	(4.9) 2	(7.3) 3	(14.6) 6	(12.2) 5	(14.6) 6	(9.8) 4	(9.8) 4	(7.3) 3	(7.3) 3	(4.9) 2	(4.9) 2	(2.4) 1				
20～24才	(100.0) 1,605	(7.6) 122	(13.3) 214	(10.8) 174	(10.2) 163	(9.2) 147	(8.9) 142	(8.8) 141	(7.8) 125	(7.3) 117	(5.9) 94	(4.1) 65	(2.9) 46	(1.9) 30	(0.9) 15	(0.6) 9	(0.1) 1
25～29才	(100.0) 3,339	(7.2) 240	(11.9) 397	(12.0) 399	(11.8) 395	(11.0) 368	(10.1) 338	(8.8) 292	(7.0) 234	(6.2) 208	(5.2) 173	(3.5) 117	(2.3) 78	(1.3) 43	(0.8) 28	(0.7) 22	(0.2) 7
30～34才	(100.0) 1,096	(7.7) 84	(12.3) 135	(13.3) 146	(11.4) 125	(12.0) 131	(10.3) 113	(8.9) 98	(7.5) 82	(5.7) 62	(4.0) 44	(2.7) 30	(2.3) 25	(0.9) 10	(0.5) 5	(0.2) 2	(0.4) 4
35～39才	(100.0) 120	(5.8) 7	(11.7) 14	(12.5) 15	(8.3) 10	(10.8) 13	(10.8) 13	(10.8) 13	(7.5) 9	(6.7) 8	(5.8) 7	(3.3) 4	(4.2) 5	(1.7) 2			
40才～	(100.0) 5			(20.0) 1	(20.0) 1	(20.0) 1	(20.0) 1	(20.0) 1									
不明	(100.0) 6			(33.3) 2				(16.7) 1				(16.7) 1					(33.3) 2

表7 受診状況 (妊娠週数別・年齢階層別)

(昭和56年1月～3月)

医療機関調

	計	～7週	8～11	12～15	16～19	20～23	24～27	28～31	32～35	36～39	40～	不明
計	(100.0) 6,212	(0.7) 45	(2.6) 163	(6.8) 420	(8.4) 524	(8.4) 519	(9.1) 564	(12.6) 785	(17.3) 1,072	(29.7) 1,847	(4.2) 263	(0.2) 10
～19才	(100.0) 41			(2.4) 1	(12.2) 5	(9.8) 4	(12.2) 5	(14.6) 6	(12.2) 5	(22.0) 9	(14.6) 6	
20～24才	(100.0) 1,605	(1.1) 17	(3.0) 48	(7.0) 112	(9.7) 155	(8.2) 132	(8.5) 136	(11.7) 188	(16.0) 257	(30.2) 484	(4.7) 75	(0.1) 1
25～29才	(100.0) 3,339	(0.6) 20	(2.5) 82	(6.6) 221	(7.3) 243	(7.7) 257	(9.3) 310	(13.1) 437	(18.3) 611	(30.6) 1,020	(4.0) 133	(0.2) 5
30～34才	(100.0) 1,096	(0.7) 8	(2.7) 30	(7.3) 80	(9.5) 104	(10.3) 113	(8.8) 96	(12.8) 140	(16.3) 179	(27.1) 297	(4.2) 46	(0.3) 3
35～39才	(100.0) 120		(1.7) 2	(5.0) 6	(13.3) 16	(9.2) 11	(13.3) 16	(8.3) 10	(16.7) 20	(30.0) 36	(2.5) 3	
40才～	(100.0) 5					(20.0) 1	(20.0) 1	(60.0) 3				
不明	(100.0) 6		(16.7) 1		(16.7) 1	(16.7) 1		(16.7) 1		(16.7) 1		(16.7) 1

表8 今までの妊娠回数（年齢階層別）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

	計	0回	1	2	3	4	5～	不明
計	(100.0) 6,212	(40.7) 2,527	(37.7) 2,341	(15.6) 967	(4.6) 285	(1.0) 60	(0.3) 20	(0.2) 12
～19才	(100.0) 41	(87.8) 36		(12.2) 5				
20～24才	(100.0) 1,605	(66.5) 1,067	(26.1) 419	(6.2) 100	(0.9) 15	(0.1) 1		(0.2) 3
25～29才	(100.0) 3,339	(37.0) 1,236	(44.0) 1,470	(13.6) 455	(4.0) 132	(0.7) 24	(0.5) 17	(0.2) 5
30～34才	(100.0) 1,096	(15.9) 174	(38.6) 423	(31.8) 348	(10.3) 113	(2.9) 32	(0.3) 3	(0.3) 3
35～39才	(100.0) 120	(10.0) 12	(21.7) 26	(45.0) 54	(20.8) 25	(2.5) 3		
40才～	(100.0) 5		(20.0) 1	(80.0) 4				
不明	(100.0) 6	(33.3) 2	(33.3) 2	(16.7) 1				(16.7) 1

表9-1 既往妊娠回数と今までの健診回数（実数）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

妊娠回数 健診回数	計	0回	1	2	3	4	5～	不明
計	6,212	2,527	2,341	967	285	60	20	12
0回	455	193	163	68	18	9		4
1	763	303	278	139	35	6	2	
2	743	282	285	126	39	8	3	
3	699	257	276	117	38	8	2	1
4	666	237	272	112	33	9	3	
5	611	214	253	101	37	5	1	
6	550	219	210	92	23	5	1	
7	453	190	171	72	17	2	1	
8	398	185	141	57	13	2		
9	320	155	109	41	12	3		
10	219	124	68	17	7	1	2	
11	155	83	45	18	6	2	1	
12	85	44	32	4	4		1	
13	48	27	16	2	1		2	
14～	33	11	19	1	1		1	
不明	14	3	3		1			7

表9-2 既往妊娠回数と今までの健診回数（比率）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

妊娠回数 健診回数	計	0 回	1	2	3	4	5 ~	不 明
計	100.0	40.7	37.7	15.6	4.6	1.0	0.3	0.2
0回	100.0	42.4	35.8	15.0	4.0	2.0		0.9
1	100.0	39.7	36.4	18.2	4.6	0.8	0.3	
2	100.0	38.0	38.4	17.0	5.3	1.1	0.4	
3	100.0	36.8	39.5	16.7	5.4	1.1	0.3	0.1
4	100.0	35.6	40.8	16.8	5.0	1.4	0.5	
5	100.0	35.0	41.4	16.5	6.1	0.8	0.2	
6	100.0	39.8	38.2	16.7	4.2	0.9	0.2	
7	100.0	41.9	37.8	15.9	3.8	0.4	0.2	
8	100.0	46.5	35.4	14.3	3.3	0.5		
9	100.0	48.4	34.1	12.8	3.8	0.9		
10	100.0	56.6	31.1	7.8	3.2	0.5	0.9	
11	100.0	53.6	29.0	11.6	3.9	1.3	0.7	
12	100.0	51.8	37.7	4.7	4.7		1.2	
13	100.0	56.3	33.3	4.2	2.1		4.2	
14~	100.0	33.3	57.6	3.0	3.0		3.0	
不 明	100.0	21.4	21.4		7.0			50.0

表9-3 既往妊娠回数と今までの健診回数（比率）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

妊娠回数 健診回数	計	0 回	1	2	3	4	5 ~	不 明
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0回	7.3	7.6	7.0	7.0	6.3	15.0		33.3
1	12.3	12.0	11.9	14.4	12.3	10.0	10.0	
2	12.0	11.2	12.2	13.0	13.7	13.3	15.0	
3	11.3	10.2	11.8	12.1	13.3	13.3	10.0	8.3
4	10.7	7.4	11.6	11.6	11.6	15.0	15.0	
5	9.8	8.5	10.8	10.4	13.0	8.3	5.0	
6	8.9	8.7	9.0	9.5	0.8	8.3	5.0	
7	7.3	7.5	7.3	7.4	6.0	3.3	5.0	
8	6.4	7.3	6.0	5.9	4.6	3.3		
9	10.0	6.1	4.7	4.2	4.2	5.0		
10	3.5	4.9	2.9	1.8	2.5	1.7	10.0	
11	2.5	3.3	1.9	1.9	2.1	3.3	5.0	
12	1.4	1.7	1.4	0.4	1.4		5.0	
13	0.8	1.1	0.7	0.2	0.4		10.0	
14~	0.5	0.4	0.8	0.1	0.4		5.0	
不 明	0.2	0.1	0.1		0.4			58.3

表10 受診結果（年齢階層別）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

	計	異常なし	異常									有	
			小計	妊娠中毒症	貧血症	骨盤位	切迫早産	妊娠中毒症+貧血症	悪阻	高血圧症	その他 妊娠と関係あるもの	その他	
計	(100.0) 6,212	(84.6) 5,256	(15.4) 956	(8.4) 523	(2.3) 143	(1.9) 118	(1.1) 65	(0.4) 24	(0.2) 10	(0.6) 34	(0.3) 20	(0.3) 19	
～19才	(100.0) 41	(73.2) 30	(26.8) 11	(9.8) 4			(14.6) 6	(2.4) 1					
20～24才	(100.0) 1,605	(85.6) 1,373	(14.5) 232	(8.4) 134	(1.9) 31	(1.6) 25	(0.9) 14	(0.4) 6	(0.1) 1	(0.7) 11	(0.1) 2	(0.5) 8	
25～29才	(100.0) 3,339	(84.3) 2,814	(15.7) 525	(8.5) 284	(2.5) 82	(2.1) 69	(1.1) 36	(0.4) 14	(0.1) 4	(0.6) 19	(0.4) 12	(0.2) 5	
30～34才	(100.0) 1,096	(85.5) 937	(14.5) 159	(8.4) 92	(2.0) 22	(2.0) 22	(0.6) 7	(0.2) 2	(0.5) 5	(0.3) 3	(0.4) 4	(0.2) 2	
35～39才	(100.0) 120	(78.3) 94	(21.7) 26	(5.0) 6	(6.7) 8	(1.7) 2	(1.7) 2	(0.8) 1		(0.8) 1	(1.7) 2	(3.3) 4	
40才～	(100.0) 5	(40.0) 2	(60.0) 3	(60.0) 3									
不明	(100.0) 6	(100.0) 6											

表11 健診結果（今までの健診回数別）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

	計	異常なし	異常									有	
			小計	妊娠中毒症	貧血症	骨盤位	切迫早産	妊娠中毒症+貧血症	悪阻	高血圧症	その他 妊娠と関係あるもの	その他	
計	(100.0) 6,212	(84.6) 5,256	(15.4) 956	(8.4) 523	(2.3) 143	(1.9) 118	(1.1) 65	(0.4) 24	(0.2) 10	(0.6) 34	(0.3) 20	(0.3) 19	
0回	(100.0) 455	(95.2) 433	(4.8) 22	(2.0) 9	(0.7) 3	(0.9) 4	(0.9) 4			(0.2) 1		(0.2) 1	
1	(100.0) 763	(90.8) 693	(9.2) 70	(3.0) 23	(1.2) 9	(0.8) 6	(2.8) 21		(0.8) 6	(0.4) 3	(0.1) 1	(0.1) 1	
2	(100.0) 743	(89.5) 665	(10.5) 78	(3.9) 29	(2.2) 16	(1.1) 8	(1.5) 11	(0.1) 1	(0.4) 3	(0.5) 4	(0.4) 3	(0.4) 3	
3	(100.0) 699	(87.8) 614	(12.2) 85	(4.4) 31	(2.7) 19	(2.3) 16	(0.9) 6	(0.1) 1	(0.1) 1	(0.6) 4	(0.7) 5	(0.3) 2	
4	(100.0) 666	(85.1) 567	(14.9) 99	(6.5) 43	(2.7) 18	(3.2) 21	(1.1) 7	(0.3) 2		(0.8) 5	(0.2) 1	(0.3) 2	
5	(100.0) 611	(84.5) 516	(15.6) 95	(7.0) 43	(2.6) 16	(2.5) 15	(1.2) 7	(0.8) 5		(0.7) 4	(0.5) 3	(0.3) 2	
6	(100.0) 550	(80.6) 443	(19.5) 107	(11.3) 62	(3.1) 17	(2.4) 13	(0.6) 3	(0.4) 2		(0.7) 4	(0.6) 3	(0.6) 3	
7	(100.0) 453	(79.3) 359	(20.8) 94	(13.5) 61	(2.2) 10	(2.0) 9	(0.9) 4	(0.9) 4		(0.9) 4	(0.2) 1	(0.2) 1	
8	(100.0) 398	(77.1) 307	(22.9) 91	(14.8) 59	(3.0) 12	(3.0) 12	(0.3) 1	(1.0) 4		(0.5) 2		(0.3) 1	
9	(100.0) 320	(76.3) 244	(23.8) 76	(16.9) 54	(4.1) 13	(1.6) 5	(0.3) 1	(0.6) 2				(0.3) 1	
10	(100.0) 219	(73.5) 161	(26.5) 58	(19.6) 43	(1.4) 3	(2.3) 5		(0.9) 2		(0.5) 1	(0.9) 2	(0.9) 2	
11	(100.0) 155	(74.2) 115	(25.8) 40	(20.0) 31	(3.2) 5	(1.9) 3				(0.7) 1			
12	(100.0) 85	(81.2) 69	(18.8) 16	(16.5) 14	(1.2) 1			(1.2) 1					
13	(100.0) 48	(68.8) 33	(31.3) 15	(29.2) 14		(2.1) 1							
14～	(100.0) 33	(75.8) 25	(24.2) 8	(18.2) 6						(3.0) 1	(3.0) 1		
不明	(100.0) 14	(85.7) 12	(14.3) 2	(7.1) 1	(7.1) 1								

表12 健診結果（既往妊娠回数別）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

	計	異常 なし	異 常									有	
			小 計	妊 娠 中毒症	貧血症	骨盤位	切 迫 早流産	妊娠中 毒症+ 貧血症	悪 阻	高血圧 症	そ の 他		
											妊 娠 と関係 あるもの	その他	
計	(100.0) 6,212	(84.6) 5,256	(15.4) 956	(8.4) 523	(2.3) 143	(1.9) 118	(1.1) 65	(0.4) 24	(0.2) 10	(0.6) 34	(0.3) 20	(0.3) 19	
0回	(100.0) 2,527	(85.7) 2,165	(14.3) 362	(8.6) 217	(1.7) 43	(1.8) 45	(0.7) 18	(0.4) 11	(0.1) 2	(0.7) 17	(0.2) 5	(0.2) 4	
1	(100.0) 2,341	(84.2) 1,970	(15.9) 371	(7.7) 181	(2.8) 65	(2.4) 56	(1.3) 30	(0.3) 7	(0.2) 4	(0.6) 13	(0.4) 9	(0.3) 6	
2	(100.0) 967	(82.2) 795	(17.8) 172	(9.4) 91	(3.3) 32	(1.2) 12	(1.3) 13	(0.3) 3	(0.4) 4	(0.4) 4	(0.4) 4	(0.9) 9	
3	(100.0) 285	(86.0) 245	(14.0) 40	(8.8) 25	(1.1) 3	(1.8) 5	(1.4) 4	(0.4) 1			(0.7) 2		
4	(100.0) 60	(86.7) 52	(13.3) 8	(10.0) 6				(3.3) 2					
5～	(100.0) 20	(90.0) 18	(10.0) 2	(10.0) 2									
不 明	(100.0) 12	(91.7) 11	(8.3) 1	(8.3) 1									

表13 健診結果（妊娠週数別）

（昭和56年1月～3月）

医療機関調

	計	異 常 なし	異 常									有	
			小 計	妊 娠 中毒症	貧血症	骨盤位	切 迫 早流産	妊娠中 毒症+ 貧血症	悪 阻	高血圧 症	そ の 他		
											妊 娠 と関係 あるもの	その他	
計	(100.0) 6,212	(84.6) 5,256	(15.4) 956	(8.4) 523	(2.3) 143	(1.9) 118	(1.1) 65	(0.4) 24	(0.2) 10	(0.6) 34	(0.3) 20	(0.3) 19	
～ 7 週	(100.0) 45	(73.3) 33	(26.7) 12				(22.2) 10		(4.4) 2				
8 ～ 11	(100.0) 163	(91.4) 149	(8.6) 14		(0.6) 1		(3.7) 6		(3.7) 6			(0.6) 1	
12 ～ 15	(100.0) 420	(94.8) 398	(5.2) 22	(0.7) 3	(0.2) 1	(0.2) 1	(2.9) 12		(0.5) 2	(0.5) 2	(0.2) 1		
16 ～ 19	(100.0) 524	(96.4) 505	(3.6) 19	(0.4) 2	(1.2) 6		(1.0) 5		(1.0) 5			(0.2) 1	
20 ～ 23	(100.0) 519	(94.0) 488	(6.0) 31	(1.7) 9	(1.4) 7	(0.2) 1	(1.2) 6		(1.0) 5		(0.6) 3		
24 ～ 27	(100.0) 564	(89.4) 504	(10.6) 60	(2.8) 16	(3.0) 17	(2.0) 11	(1.4) 8		(0.9) 5		(0.4) 2	(0.2) 1	
28 ～ 31	(100.0) 785	(84.5) 663	(15.5) 122	(5.1) 40	(2.6) 20	(5.2) 41	(0.6) 5	(0.4) 3		(0.6) 5	(0.5) 4	(0.5) 4	
32 ～ 35	(100.0) 1,072	(80.6) 864	(19.4) 208	(10.5) 113	(2.6) 28	(3.2) 34	(1.1) 12	(0.5) 5	(0.6) 6		(0.5) 5	(0.5) 5	
36 ～ 39	(100.0) 1,847	(77.9) 1,438	(22.1) 409	(15.8) 292	(3.3) 60	(1.4) 26	(0.1) 1	(0.8) 14	(0.3) 5		(0.2) 4	(0.4) 7	
40 ～	(100.0) 263	(78.0) 205	(22.1) 58	(17.9) 47	(1.1) 3	(1.5) 4		(0.8) 2		(0.4) 1	(0.4) 1		
不 明	(100.0) 10	(90.0) 9	(10.0) 1	(10.0) 1									

表14 受診状況（年齢階層別・無料券の有無別）

（昭和 56 年 1 月～3 月）

医療機関調

	計	～ 19 才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	40 才～	不 明
計	(100.0) 6,212	(0.7) 41	(25.8) 1,605	(53.8) 3,339	(17.6) 1,096	(1.9) 120	(0.1) 5	(0.1) 6
無料券によるもの	(100.0) 988	(0.7) 7	(26.0) 257	(51.9) 513	(19.0) 188	(2.1) 21	(0.1) 1	(0.1) 1
無料券以外によるもの	(100.0) 5,224	(0.7) 34	(25.8) 1,348	(54.1) 2,826	(17.4) 908	(1.9) 99	(0.1) 4	(0.1) 5

表15 受診状況（妊娠週数別・無料券の有無別）

（昭和 56 年 1 月～3 月）

医療機関調

	計	～7週	8～11週	12～15週	16～19週	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36～39週	40週～	不 明
計	(100.0) 6,212	(0.7) 45	(2.6) 163	(6.8) 420	(8.4) 524	(8.4) 519	(9.1) 564	(12.6) 785	(17.3) 1,072	(29.7) 1,847	(4.2) 263	(0.2) 10
無料券によるもの	(100.0) 988	(0.1) 1	(1.1) 11	(10.2) 101	(20.7) 204	(13.1) 129	(9.3) 92	(18.2) 180	(18.6) 184	(8.2) 81	(0.4) 4	(0.1) 1
無料券以外によるもの	(100.0) 5,224	(0.8) 44	(2.9) 152	(6.1) 319	(6.1) 320	(7.5) 390	(9.0) 472	(11.6) 605	(17.0) 888	(33.8) 1,766	(5.0) 259	(0.2) 9

表16 受診状況（健診回数別・公費別）

（昭和 56 年 1 月～3 月）

医療機関調

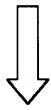
	計	0回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14～	不明
計	(100.0) 6,212	(7.3) 455	(12.3) 763	(12.0) 743	(11.3) 699	(10.7) 666	(9.8) 611	(8.9) 550	(7.3) 453	(6.4) 398	(5.2) 320	(3.5) 219	(2.5) 155	(1.4) 85	(0.8) 48	(0.5) 33	(0.2) 14
無料によるもの	(100.0) 988	(10.2) 101	(15.3) 151	(19.1) 189	(14.8) 146	(12.7) 125	(10.5) 104	(7.7) 76	(3.6) 36	(3.5) 35	(1.1) 11	(0.7) 7	(0.2) 2	(0.3) 3	(0.1) 1		(0.1) 1
無料以外によるもの	(100.0) 5,224	(6.8) 354	(11.7) 612	(10.6) 554	(10.6) 553	(10.4) 541	(9.7) 507	(9.1) 474	(8.0) 417	(7.0) 363	(5.9) 309	(4.1) 212	(2.9) 153	(1.6) 82	(0.9) 47	(0.5) 33	(0.3) 13

表17 受診結果（無料券の有無別）

（昭和56年1月～3月）

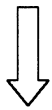
医療機関調

	計	異常なし	異常									
			小計	妊娠中毒症	貧血症	骨盤位	切迫早産	妊娠中毒症+貧血症	悪阻	高血圧症	その他	
											妊娠と関係あるもの	その他
計	(100.0) 6,212	(84.6) 5,256	(15.4) 956	(8.4) 523	(2.3) 143	(1.9) 118	(1.1) 65	(0.4) 24	(0.2) 10	(0.6) 34	(0.3) 20	(0.3) 19
無料券によるもの	(100.0) 988	(91.0) 899	(9.0) 89	(4.9) 48	(1.5) 15	(1.1) 11	(0.3) 3	(0.3) 3		(0.8) 8		(0.1) 1
無料券以外によるもの	(100.0) 5,224	(83.4) 4,357	(16.6) 867	(9.1) 475	(2.5) 128	(2.1) 107	(1.2) 62	(0.4) 21	(0.2) 10	(0.5) 26	(0.3) 20	(0.3) 18



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

1.新潟県における母子保健の現況

新潟県における母子保健事業は市町村に委託実施されており、保健所は市町村の指導を主とし、必要に応じて技術援助を行っている。従って、県は市町村に対し委託費を支払っており、また、母子保健法第13条による妊婦健康診査受診票は市町村に委託して、妊娠届出の際、市町村の窓口で交付されるようになっている。受診票は健康診査受診後、医療機関から発行した保健所に請求され、保健所で支払いをするよう定められている。

ちなみに、昭和55年度の新津保健所管内(3市、3町、1村、人口203,323人)で、委託費は、9,776,659円にのぼり、妊婦健康診査に対する医療機関への支払いは、13,273,210円となっている。

以上のような実情のため、保健所では母子保健事業の情報が得られにくいというらみがある反面よりきめの細かい施策が市町村で実施されているという利点も認められる。

これらの実情を踏まえて、本年度は次の2つの項目につき研究を行った。